



地球連邦軍
先行量産型モビルスーツ
RGM-79(G)「ジム・スナイパー」
1/100スケール
マスターグレードモデル

RGM-79(G) GM SNIPER

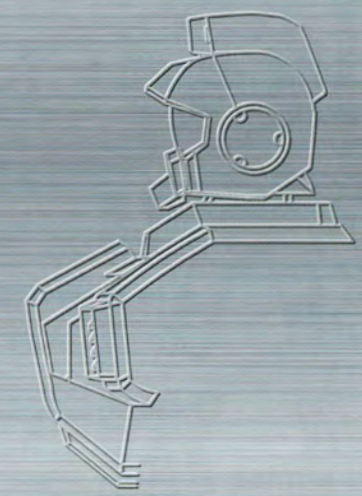
E.F.G.F. FIRST PRODUCTION MOBILE SUIT



MOBILE SUIT
RGM-79(G)

GM SNIPER

E.F.G.F. FIRST PRODUCTION
MOBILE SUIT

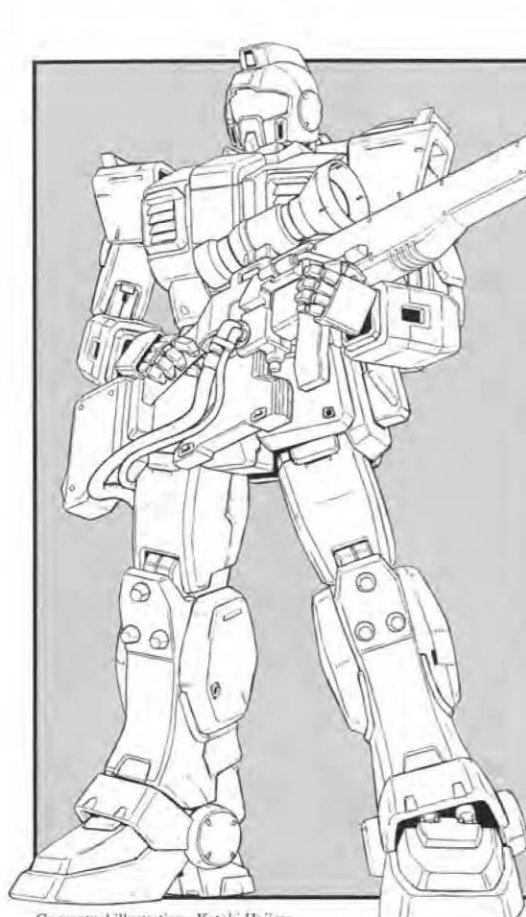


地球連邦軍
先行量産型モビルスーツ
RGM-79(G)「ジム・スナイパー」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2006 MADE IN JAPAN



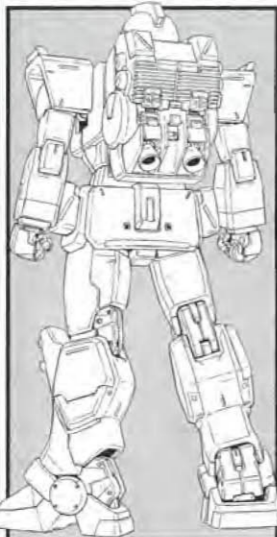
0146734



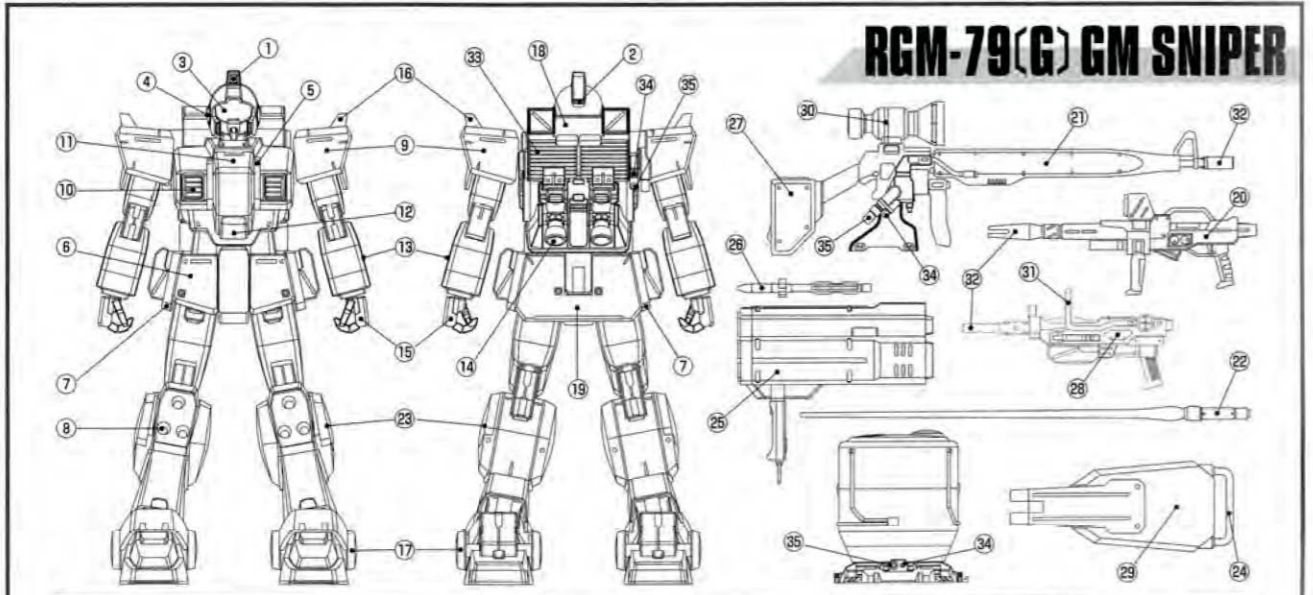
Conceptual illustration : Katoki Hajime

RGM-79(G) GM SNIPER

RGM-79(G)ジム・スナイパーは、量産型MS開発のため少数生産された陸戦型ジムの改修機である。"陸戦型ジム"とは塗装や専用武装以外にスペック上の差異はほとんどない。運用目的が他の機体と異なるため"ジム・スナイパー"と呼ばれているが、宇宙艦隊の特務部隊に配備されたRGM-79SC ジム・スナイパーカスタムのような改造が施されている訳ではなく、事実上の改修点はロングレンジ・ビーム・ライフルとのマッチング調整程度である。地球上のミリタリーバランスを一変させたオデッサ作戦終了後、地球連邦軍首脳は、弾道軌道を経由して衛星軌道上からジャブローに攻撃を加えることが可能な恐るべきMA"アブサラス"が完成間近であることを察知した。その開発拠点は、地球連邦極東方面軍機械化混成大隊、俗にコジマ大隊として知られる部隊が展開する地域に隣接しており、同部隊には急速、当該する公国軍の秘密基地および開発工廠の捜索が命じられ、対抗措置として、超長距離射撃が可能なロングレンジ・ビーム・ライフルが緊急配備されることとなった。この武装は、文字どおり"戦艦並み"の威力と射程を発揮するのみならず、既存のビーム・ライフルを上回るスパンでの"照射"が可能であった。到着から間もなく、出力を想定3分の1ほどにセーブした状態で試験射撃が行われ、その威力と性能は確認されたものの、機体を経由するエネルギー量が予想値を上回り、機体の電装設備の稼働に支障を来すことが明らかとなった。そのため、機体と銃身の強制冷却を始め、専用のエネルギー回路を持つ機体が必要となったのである。かくして、その運用を前提としてチューンされた機体がジム・スナイパーであり、前線での運用時に峻別を容易にするため機体塗装のパターンが変更された。とはいえ、それ以外の仕様は陸戦型ジムと全く同一であるため、同機が使用する武装は基本的に全て運用する事ができる。同仕様の機体はアブサラス開発基地攻略戦に少なくとも3機以上が配備され、ほぼ全ての機体が戦果を上げている。また擬装網(カムフラージュネット)の装備もあったとされ、スナイパー用に特化しマット仕様にペイントされた機体色と相まってカムフラージュ効果は高かったと言われている。



この武装は、文字どおり"戦艦並み"の威力と射程を発揮するのみならず、既存のビーム・ライフルを上回るスパンでの"照射"が可能であった。到着から間もなく、出力を想定3分の1ほどにセーブした状態で試験射撃が行われ、その威力と性能は確認されたものの、機体を経由するエネルギー量が予想値を上回り、機体の電装設備の稼働に支障を来すことが明らかとなった。そのため、機体と銃身の強制冷却を始め、専用のエネルギー回路を持つ機体が必要となったのである。かくして、その運用を前提としてチューンされた機体がジム・スナイパーであり、前線での運用時に峻別を容易にするため機体塗装のパターンが変更された。とはいえ、それ以外の仕様は陸戦型ジムと全く同一であるため、同機が使用する武装は基本的に全て運用する事ができる。同仕様の機体はアブサラス開発基地攻略戦に少なくとも3機以上が配備され、ほぼ全ての機体が戦果を上げている。また擬装網(カムフラージュネット)の装備もあったとされ、スナイパー用に特化しマット仕様にペイントされた機体色と相まってカムフラージュ効果は高かったと言われている。



RGM-79(G) GM SNIPER

- | | | | | |
|-----------------|------------------|------------------|-------------------|-----------------|
| ①メインカメラ | ⑧ニージョイントスパイクアーマー | ⑮マニピュレーター | ⑳ビーム・サーベル | ㉓シールド |
| ②リアカメラ/センサー | ⑨ショルダーアーマー | ⑯スリングバー | ㉑サーベルラック | ㉔サイトスコープ |
| ③デュアル/サブセンサーアレイ | ⑩ダクト/インターク | ⑰アングルサポートユニット | ㉒キャリングハンドル | ㉕フォールディングストック |
| ④コ・プロセッサポート | ⑪コクピットハッチ | ⑱ランドセル | ㉖ミサイルランチャー | ㉗マズル |
| ⑤クレーンアーム | ⑫メンテナンスハッチ | ⑲リアアーマー | ㉘ミサイル | ㉙ヒートシンク |
| ⑥フロントアーマー | ⑬マウントラッチ | ㉚ビーム・ライフル | ㉜クォータサーキュレートコネクター | ㉞ストック |
| ⑦サイドアーマー | ⑭メインスラスタ | ㉛ロングレンジ・ビーム・ライフル | ㉝100mmマシンガン | ㉟エネルギーサブライコネクター |

注) "ジム・スナイパー"と呼ばれる機体のうち、陸戦型ジムをベースとしたものは、東南アジア方面軍所属機が確認されている。

組み立て前の基本説明

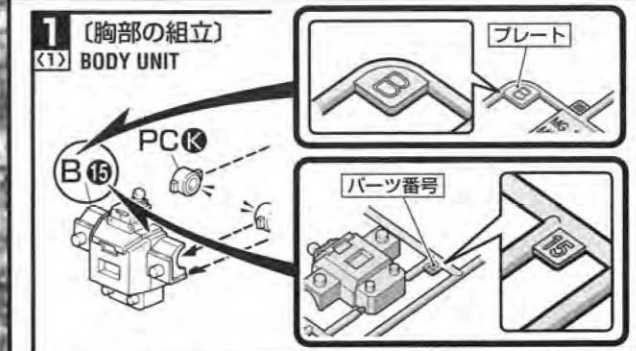
必要な道具

- 〈ニッパー(プラスチック用)〉
 - ・パーツをランナーから切りはなしてゲートを取るのに使います。
- 〈ピンセット〉
 - ・小さい部品を取り付けたりシールを貼るのに便利。
- 〈はさみ〉
 - ・ガンダムデカールを切りはなす際に使います。
- 〈+(プラス)ドライバー〉
 - ・ビスを締める際に使います。

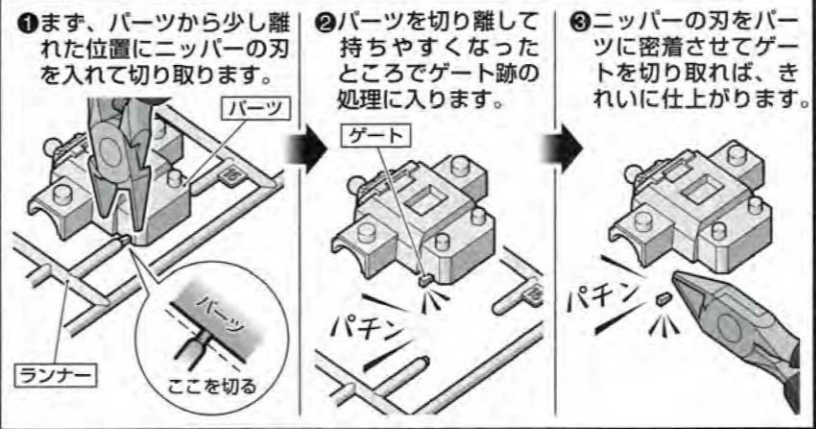
※この商品に道具類は入っていないので、別にご用意ください。

説明書の見かた。

説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。)

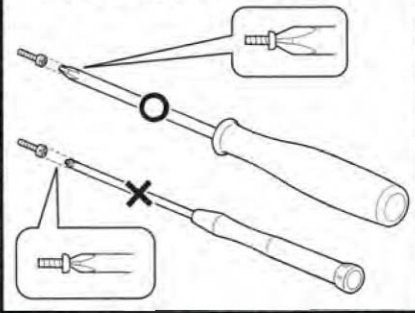


パーツの切り取りかた。



ドライバーの選び方

※ビスに合ったドライバーをご使用ください。サイズの合わないドライバーを使用するとビスを破損してしまう場合があります。



ガンダムデカールの貼りかた。



説明書をよく読んで完成させましょう。



HOW TO
PARTS LIST
BODY UNIT
HEAD UNIT
ARM UNIT
LEG UNIT
FINAL ASSEMBLY
LONG RANGE BEAM RIFLE
WEAPONS
SEAL

△ 注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーをしますので別にご用意ください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

塗装をするところ	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側に同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意
切り取るところ	部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動きます

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

Bパーツ (スチロール樹脂: PS)

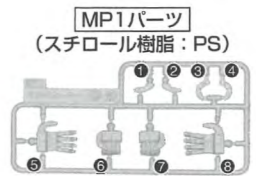
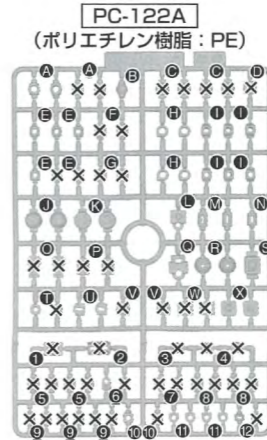
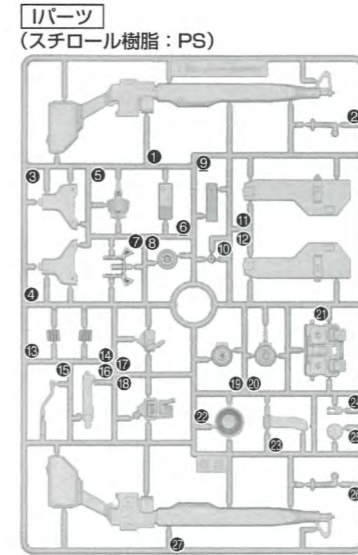
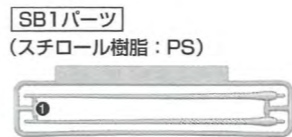
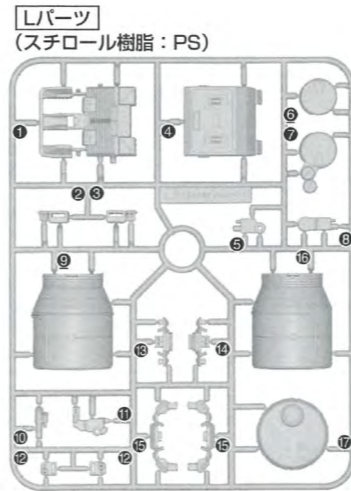
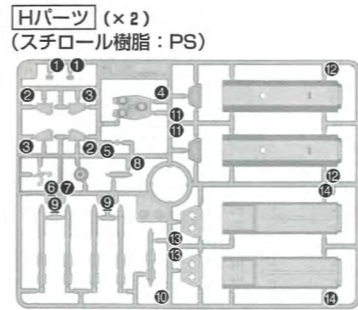
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)

Dパーツ (ABS樹脂: ABS)

Eパーツ (スチロール樹脂: PS)

Fパーツ (スチロール樹脂: PS)

Gパーツ (スチロール樹脂: PS)

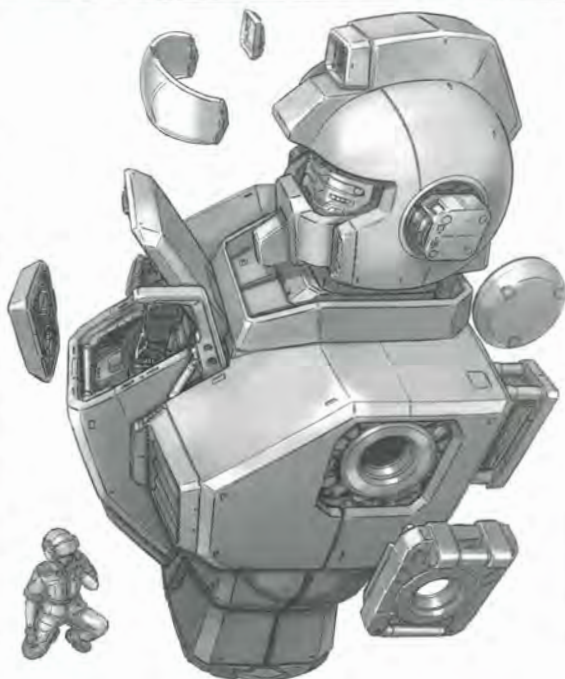


- カラーシール……………1
- マーキングシール……………1
- ガンダムデカール……………1
- ジュエルシール……………1
(ポリウレタン: PUR)
- ビス……………2
- ナット……………2
- ビス座付……………2
- ビニールチューブ (太) ……2
(塩化ビニル樹脂: PVC)
- ビニールチューブ (細) ……2
(塩化ビニル樹脂: PVC)
- カムフラージュネット……………1
(ポリエステル)

BODY & HEAD UNIT (胸部) (頭部)

RGM-79[G]の頭部は、頭頂部のメインカメラとユニット化されたデュアルカメラを単体のデバイスとする構造を持つ。コクピットをはじめとする制御系と主動力炉の構造や配置が重力下での運用に特化されている。これは運用される戦術の根本的な差異によるもので、それはランドセルの機能や構造などにも現れている。

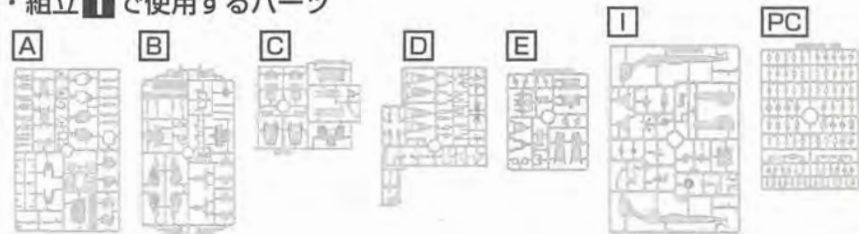
RGM-79[G]のメインコンピューターは、頭部及びコクピット周辺に分散配置されている。これは、フルスペックの教育型コンピューターの量産が困難であったという事情にもよるが、実際には陸戦用に限定特化された機体には過剰な品質であり、スペック的には稼働を安定させるためのチューンさえ施されていたのである。陸戦型ガンダムには、RX-78系の純正品も採用されていたが、陸戦型ジムには、あくまで近いスペックの同等品が供給されている。ただし、部品の交換や更新、改装など、補給においては安定した供給を受けられるというメリットもあり、前線における稼働率の向上など、MSの量産化そのものの有効性を証明することとなった。RGM-79[G]陸戦型ジムは、いわゆるRX-78ガンダムの量産化を指標としてはいたが、その構造には大幅な変更が施されている。これは生産性の問題というよりも、主に重力下での運用という前提と、投入領域の優先順位から導き出されたシミュレーションに基づくものであった。一年戦争後期に大量に生産されたジムが、大幅にコストダウンされていたとはいえ、基本的にはRX-78ガンダムの構造を継承していたのとは比べ、この機体は基礎設計そのものに陸上での運用を想定した改装が施されているのである。



Mechanism illustration : BEE-CRAFT

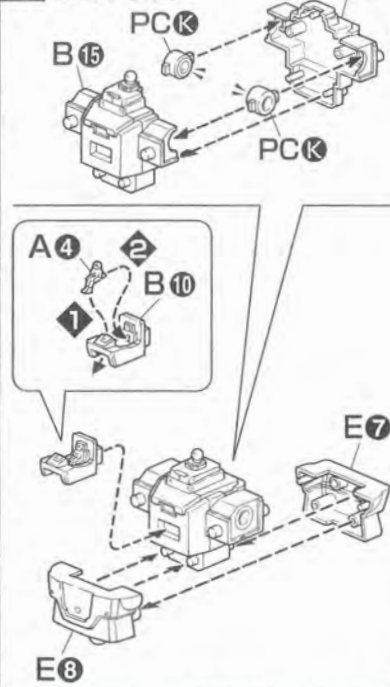
1 BODY UNIT

・組立1で使用するパーツ

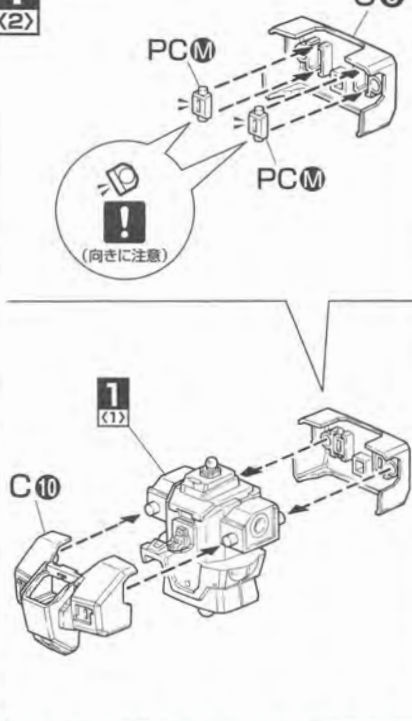


1 (胸部の組立)

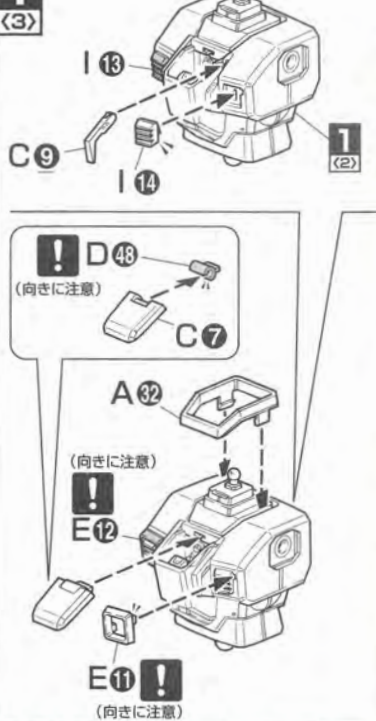
(1) BODY UNIT



1 (2)



1 (3)



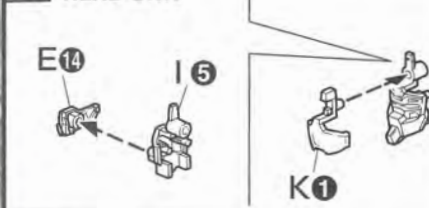
2 HEAD UNIT

・組立2で使用するパーツ

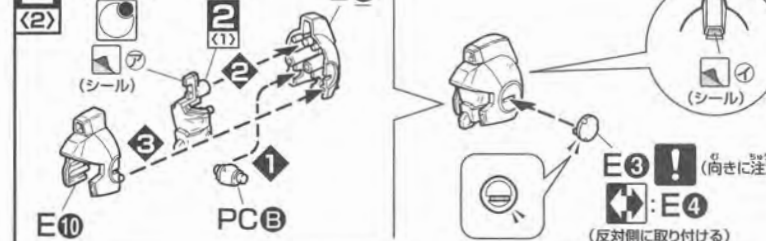


2 (頭部の組立)

(1) HEAD UNIT



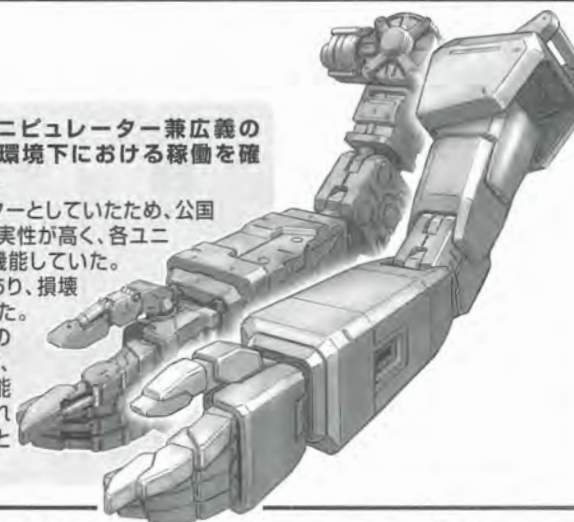
2 (2)



ARM UNIT (腕部)

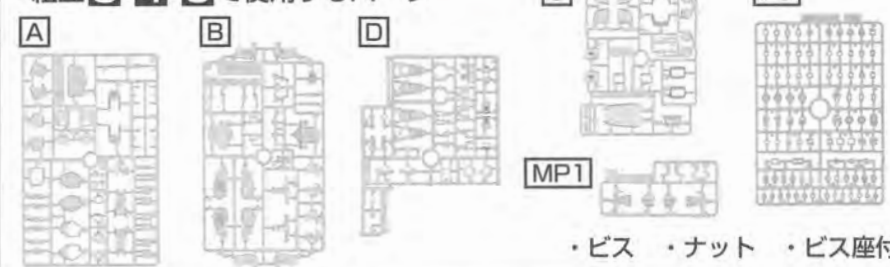
MSの腕部は、武装の選択肢を大きく拡大する汎用マニピュレーター兼広義のハードポイントでもある。RGM-79[G]の腕部は、地球環境下における稼働を確実なものとするため、徹底的なシーリングが施されている。

連邦製のMSは、フィールドモーターなどを基本的なアクチュエーターとしていたため、公国系のバルスモーターに比較して制御系と動力系の取り回しなどの確実性が高く、各ユニットのブロック化もあって、それらは運用上のフェイルセーフとして機能していた。ただし、その分ユニットそのものは構造的にデリケートなきらいがあり、損壊した部位は、基本的にそのユニットごと交換するのが前提とされていた。ただし、実際の戦線において、実戦投入が始まったばかりの新兵器の整備部品が潤沢に用意できるわけもなく、予備パーツなどの不足は、陸戦部隊にとって折り込み済みであった。そこで、陸戦型ジムは、可能な限り各部のユニットをさらに細分化し、損耗の激しいことが予想される部位は、現地での修繕が可能ないように設計変更されている。このことがジム・スナイパーへの仕様変更を容易にしていたと言えるだろう。



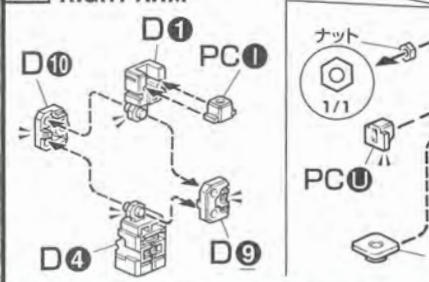
3 4 5 ARM UNIT

・組立3・4・5で使用するパーツ

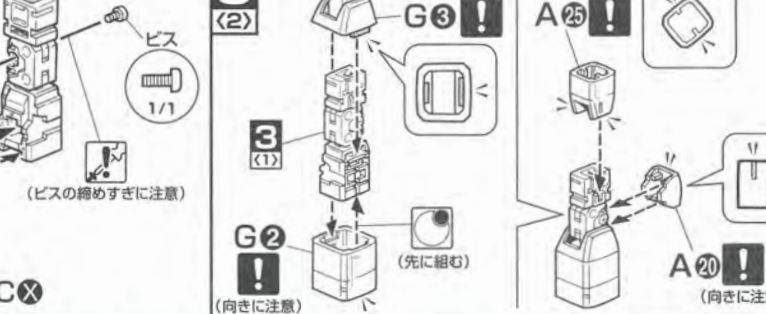


3 (右腕の組立)

(1) RIGHT ARM



3 (2)



3 (左腕の組立) (1) LEFT ARM

3 (3) (向きに注意) (ビスの締めすぎに注意) ビス座付 1/1

MP1 1 B1 B4 B18 MP1 3 (選んで取り付ける) A18・MP1 6 A18・MP1 8

3 (2) (向きに注意) A27 B7

4 (左腕の組立) (1) LEFT ARM

PC 1 D2 D8 D7 D3 (ビスの締めすぎに注意) ナット 1/1 ビス 1/1 PC 0 PC X

4 (2) (向きに注意) G4 A24 (先に組む) A19 (向きに注意)

4 (3) (向きに注意) D17 D28 ビス座付 1/1 (ビスの締めすぎに注意) A26 4 (2) (向きに注意) B3 B2 B14 MP1 4 (選んで取り付ける) A18・MP1 5 A18・MP1 7 A17 B6

4 (3) (向きに注意) D17 D28 ビス座付 1/1 (ビスの締めすぎに注意) A26 4 (2) (向きに注意) B3 B2 B14 MP1 4 (選んで取り付ける) A18・MP1 5 A18・MP1 7 A17 B6

5 (肩の組立) (1) SHOULDER UNIT

G22 (選んで取り付ける) ※ピンを切り取らないように注意してください。 G16 G11 G10 A11 (向きに注意) G9 G15 G10 A10 (向きに注意)

5 (上半身の完成) (2) UPPER BODY

2 で作った頭部 1 で作った胸部 5 (1) で作った肩 3 で作った右腕 4 で作った左腕

LEG UNIT (脚部)

地上においてMSの脚部は、特に重要なユニットであると同時に、最も酷使される部位でもある。特に陸戦型ジムは、既存の軍用車両などに替わる兵器としての運用も想定されていたのである。

MSは既存の兵器体系を刷新する存在ではあったが、兵站や戦線維持そのものにまで適用されることは希だった。ことに、地上戦においては地勢や気候などの影響が大きく、既存の戦術に則らなければならない要素も依然として大きなものだったのである。ただし、戦闘兵器としてのMSが戦場のありようを変革したのも確かで、戦闘車両をはるかに上回る走破性を持ち、自らの戦闘能力を単独で移送できるという兵器は、それまではありえないものだったのだ。その機動力をもたらす脚部はMSにとって最も重要なユニットであり、特にRGM-79[G]の脚部には、地上用に特化された特徴が集約されている。膝部装甲には格闘戦に対応したスパイクが追加され、原器となったRX-78ではコ・ジェネレーターやプロベラントタンク、バーニアユニットなどが収められていた下腿部には、大容量コンデンサーやビーム・サーベルラックなどが収められ、構造そのものが高密度にまとめられている。加えて、塵埃の混入しにくい構造が採用され、メンテナンスも少人数で可能なように配慮されている。実際、最も衝撃を受けやすく、金属疲労を起こしやすい足部接地面などのオーバーホールは、搭乗者単独でもある程度可能であったとされている。

6 7 LEG UNIT

・組立 6・7 で使用するパーツ

A B C D E G H (x2) PC

・カラーシール

6 (右脚の組立) (1) RIGHT LEG

PC 0 D15 D32 B28 B29

6 (3) PCR D20 PCA D19

6 (2) A6 B21 6 (1) C4 C2 C1 C3 (向きに注意)

6 (3) G5 1 B25 D12 B26 PC H



TREMBLING MOUNTAIN

U.C.0079年12月。MAアプサラスの開発拠点をチベットのラサ近郊に特定した地球連邦極東方面軍機械化混成大隊は、坑道が迷走する一帯に大規模空爆を敢行。基地内部への侵入路を捜索する。山麓に陸上戦艦とも呼ばれるビッグ・トレーを鎮座させ、山体の形を一変させる程の爆撃を見舞っても侵入路は発見できず。囂の坑道に仕掛けられた爆弾によって味方の被害は増える一方であった。業を煮やした連隊長のイーサン・ライヤー大佐は、MSの融合炉をわざと誘爆させ、その核爆発によって基地全体を壊滅させようとする。「アイツを宇宙へ上げてレビルに笑われるのは何としても避けたい。…判るね?」持ちかけられたゴジマ中佐は沈黙するしか無い。その瞬間にも異の爆弾が爆発し、捜索隊は被害を被っていた。動員された数機のジム・スナイパーも、所在なげにその爆発を見守るしか無かった。

REPLY OF RETALIATION

連邦軍の必死の捜索をあざ笑うかの様に、ギニアスは遂にアプサラスIIIを起動する。2機のグフ・フライトタイプを従えたアプサラスIIIは、その激しいビーム砲で威嚇のポーターラインを大地に穿ち、一時休戦を持ちかける。「どういふ事だ。何を企んでいる!?」パイロットのアイナは、負傷兵を乗せたケルゲレンを無事に脱出させるための時間を稼ぐつもりだった。「それもよからう」イーサンは、アイナの捨て身の要請を受け入れるかのような返答をした直後、ケルゲレン狙撃をジム・スナイパーに命じる。「ジム・スナイパー、スタンバイ!!!」「し、しかし今」「私は何も約束した覚えは無い」ゴジマは押し黙るしかなかった。その時、ギニアスはアイナの意思を無視して攻撃の口火を切った。「先手を取られた!!!」舌打ちするイーサン。その時点でアプサラスIIIを狙えるジム・スナイパーはいなかった。イーサンは冷静に言い放つ。「病院船を、撃墜せよ!!!」「どっちもどっちだ」ゴジマは吐き捨てるように呻く。「冷却パイプ、接続急げ」「ロングレンジ・ビーム・ライフル、スタンバイOK」「冷却システムOK」「冷却剤を絶やさない!!」地上より放たれた赤い光条がケルゲレンのブースターを目標に襲いかかる!!



THE ENDS OF THE INSANITY

アプサラスIIIはその主砲を最大出力で放った。その光の奔流は、敵の本陣であるビッグ・トレーをかすめて背後の山を消し飛ばす。「アイナ、これは何かの冗談か?」「いいえ、これが私の答えです」ケルゲレンの脱出は叶わず、状況は絶望的だった。それでもアイナはシローとの絆を信じ、ギニアスに投降を呼びかける。「位置に着きました。臨界まで1分」ようやく狙撃位置にたどり着いたジム・スナイパーがアプサラスIIIに狙いを定める。動きを止めたアプサラスIIIの中で、アイナはギニアスを思いとどませようとしていた。だがそれは兄の心を微塵も動かす事は無かった。ギニアスに撃たれコクピットから投げ出されたアイナをシローのEz-8が受け止める。「死ぬなッ、アイナーッ!!!」「貴様なのか!!!」アイナに駆け寄るシローを見たギニアスは、Ez-8ごとふたりを葬り去ろうと主砲を撃つ。「さようならアイナ、…嫌いではなかった」その時、ジム・スナイパーのビームがアプサラスIIIの軽体を貫いた!!

CUSTOM MODEL キミだけのカスタムモデルに仕上げよう!!

© 創通・サンライズ

■ウェザリングをしてみよう!!



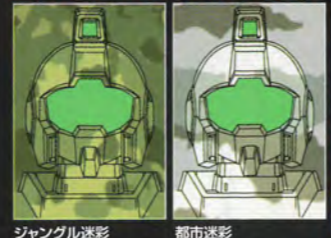
ウェザリングマーカー等(別売り)を使ってウェザリングに挑戦してみよう!!土や泥等の汚しが似合う陸戦用MSならではの雰囲気が出て、グッと立体映えるぞ!!

■名シーンを再現!!



付属の外付けジェネレーターを使って劇中の名シーンを再現!!大迫力の狙撃シーンのジオラマを作り込んでみるのも楽しいぞ!!

■イメージネーションを広げてみよう!!



図の迷彩見本を参考にして、自由な発想で自分だけのカスタム仕様のジム・スナイパーにチャレンジしてみよう!!同時期のMSである陸戦型ジムや、陸戦型ガンダムと組み合わせるディスプレイも面白いぞ!!



MG 陸戦型ジム 上記のプラモデルは別売りです。

※写真の完成品は、塗装してあります。 ※写真・イラストと商品とは、多少異なりますのでご了承ください。

PAINTING

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご確認ください。 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。
●カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。
●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

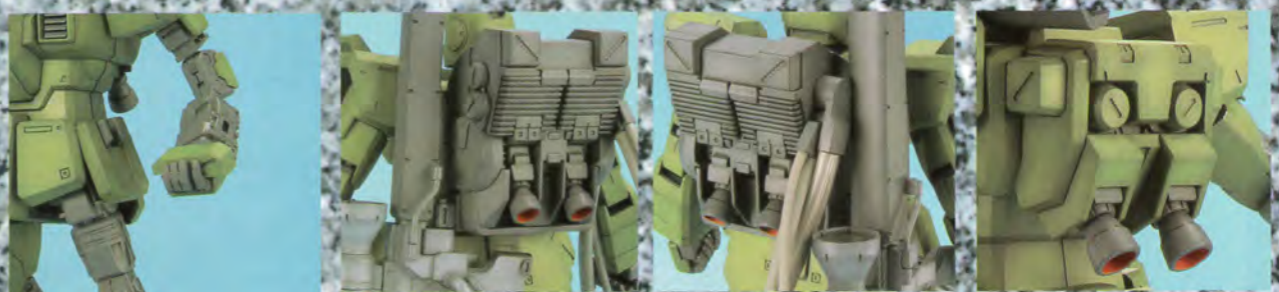
ジム・スナイパー

- 本体等グリーン部の塗装色。グリーン(35%) + ホワイト(35%) + ニュートラルグレー(25%) + ブルー(5%)
- 内部フレーム、武器等タークグレー部の塗装色。ニュートラルグレー(90%) + ブラック(10%) + ブルー(少量)
- 武器等ライトグレー部の塗装色。ニュートラルグレー(90%) + ホワイト(10%) + ブルー(少量)
- ビームライフル等ホワイト部の塗装色。ホワイト(100%) + パーフル(少量) + ブラック(少量)
- パーニア内部等レッド部の塗装色。モンザレッド(100%)
- 後頭部センサー等ライトグリーン部の塗装色。スカイブルー(80%) + デイトナグリーン(20%)

連邦兵

- 軍服 ライトグレー部の塗装色。ガルグレー(90%) + ライトブラウン(10%)
- ブーツ グレー部の塗装色。レッドブラウン(70%) + ホワイト(30%)
- 袖 レッド部の塗装色。シャインレッド(70%) + ホワイト(20%) + イエロー(10%)
- 襟等イエロー部の塗装色。イエロー(95%) + オレンジイエロー(5%)

ワンポイントステップ



▲ 強制冷却用にヒートシンクを増設したタイプのランドセルを再現。ロングレンジ・ビーム・ライフルを左右にマウント可能。

▲ 劇中に登場した通常型のランドセルも選択可能。



▲ 腕、脚部装甲は、脱着可能。各部フレーム、内部メカを再現。ビーム・サーベルラックは可動式。左右腰部マシンガンのマガジンは脱着式。

▲ 肘、膝の二重関節により、肩ごしにミサイル・ランチャーを担ぐなどの、大胆なポーズが可能。

▲ 陸戦用に装備された、ビーム・ライフルやマシンガンなどの豊富な武装をセット。



▲ 機体を覆い隠すカモフラージュネットにより、戦場のシチュエーションディスプレイが可能。

▲ 胸部クレーンアームは可動式。

▲ 肩のスリングバーは二種類からの選択式。

▲ 連邦兵のフィギュアが搭乗するコクピットはハッチ開閉式。シート、コンソールを再現。

6 (4)

D18 (向きに注意) D6 D14 (向きに注意)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

A30 B17

6 (5)

D30 (4)

A14 1 2

6 (6)

PC1 B19 PCE PCH (先に組む) (2)

6 (7)

E17 H4

6 (6)

A22 3 A29 1 2

6 (6)

(シール) G20 G14 G19

7 (左足の組立) (1) LEFT LEG

D16 PC1 D33

7 (3)

B30 B31

7 (3)

PCR D21 D22 PCA

7 (2)

B20 A6 7 (1)

C1 C3 (向きに注意) C2 C4

7 (3)

G6 D11 B24 B27 PCH 1 2

8 (腰部の組立) (1) WAIST UNIT

PCE PCE B22 B23 A12 PCL A18 (後に組む) E13

7 (4)

D6 D14 (向きに注意) D18 (向きに注意)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

B16 A31

7 (4)

D29 1 2 A15

7 (6)

B18 PC1 PCE PCH G7 (先に組む) (2)

7 (7)

A21 3 A28 1 2

7 (6)

H4 E18

7 (6)

(シール) G18 G13

8 WAIST UNIT

・組立8で使用するパーツ

A B D E PC

8 (腰部の組立) (2) WAIST UNIT

D25 D26 D23 B22 PCE PCE B23 A12 PCL A18 (後に組む) E13

8 (2) 2箇所

D31 (向きに注意) A8 (A9)

8 (2) 2箇所

A33 A34

8 (3) 〔下半身の完成〕 LOWER BODY

8(1) で作った腰部
 8(2) で作った右脚
 7 で作った左脚

8 (4) 〔完成〕 FINAL ASSEMBLE

5

LONG RANGE BEAM RIFLE

〔ロングレンジ・ビーム・ライフル〕

狙撃用に開発されたビーム発振システムとサイトスコープを備える長射程用の武装。

エネルギーCAPシステムをバイパスして外部ジェネレーターから直接エネルギーを供給することが可能で、額面通り“戦艦並み”の威力と射程を持つ。ただし、その場合でも制御信号やアイドリング用のエネルギーなどはMS本体を経由する必要があるため、機体と銃身の強制冷却が不可欠である。

そのための専用装備もこの武装の稼働には必須となっており、ケーブルとパイプを介してエネルギー供給と冷媒の循環を行う。また、同様の機能を追加装備するバックパックも開発されており、チャージ可能なエネルギーの総量や冷却効率は設置型のものより下回っているものの、拠点から離れたアンブッシュでの狙撃も可能となっている。

9 LONG RANGE BEAM RIFLE

・組立9で使用するパーツ

H (x2)
 I
 L
 PC

・ジュエルシール

9 (1) 〔ロングレンジ・ビーム・ライフルの組立〕 LONG RANGE BEAM RIFLE

※図の様に奥まで差し込まないでください。
 (向きに注意)
 広い
 狭い

9 (2)

25
 8
 19
 20
 22
 3・4
 H1
 (両側取り付ける) (向きに注意)

9 (4)

ジュエルシール
 (向きに注意)
 9(1)
 9(2)
 9(3)

9 (5)

L11
 L10
 9(4)
 15
 (向きに注意)

10 GENERATOR

・組立10で使用するパーツ

L

10 (1) 〔ジェネレーターの組立〕 GENERATOR

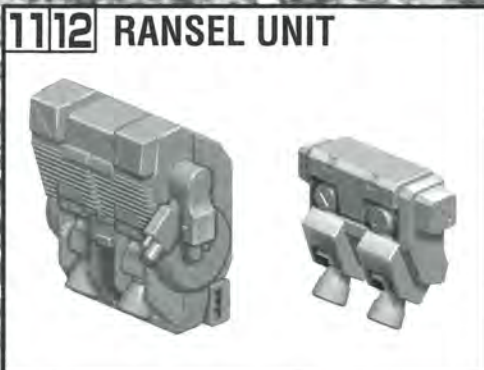
L9
 L17
 L16
 10

10 (2)

x2 (2個作る)
 L15
 L12
 10

10 (3)

L13
 L14
 10

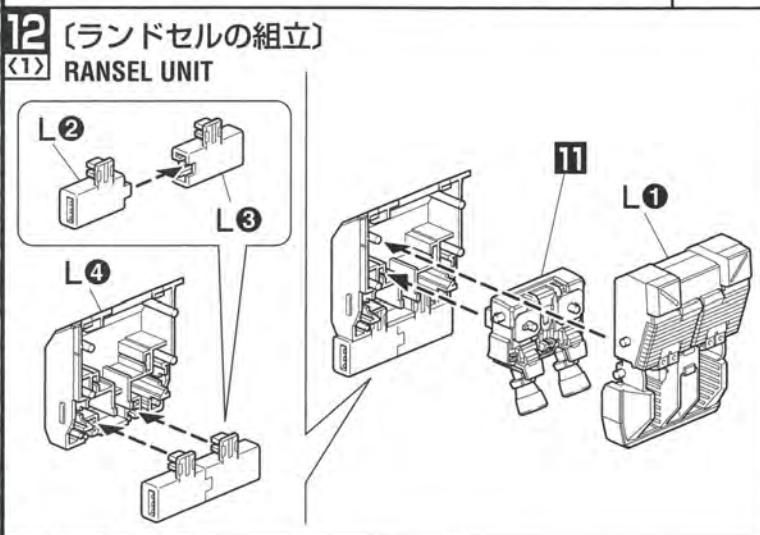
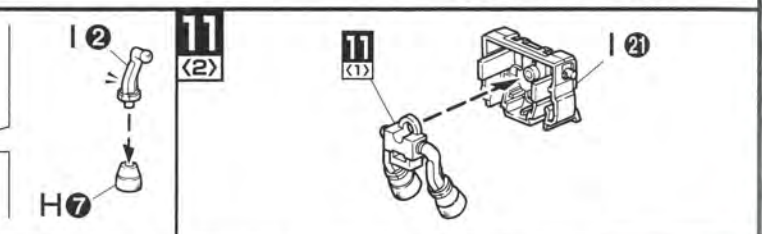
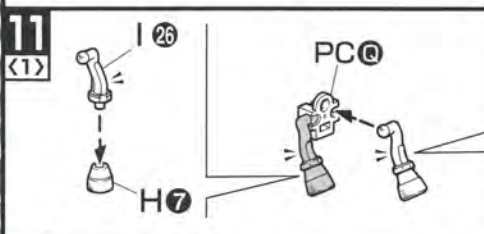


・組立11・12で使用するパーツ

E	I	L	PC
----------	----------	----------	-----------

H (×2)

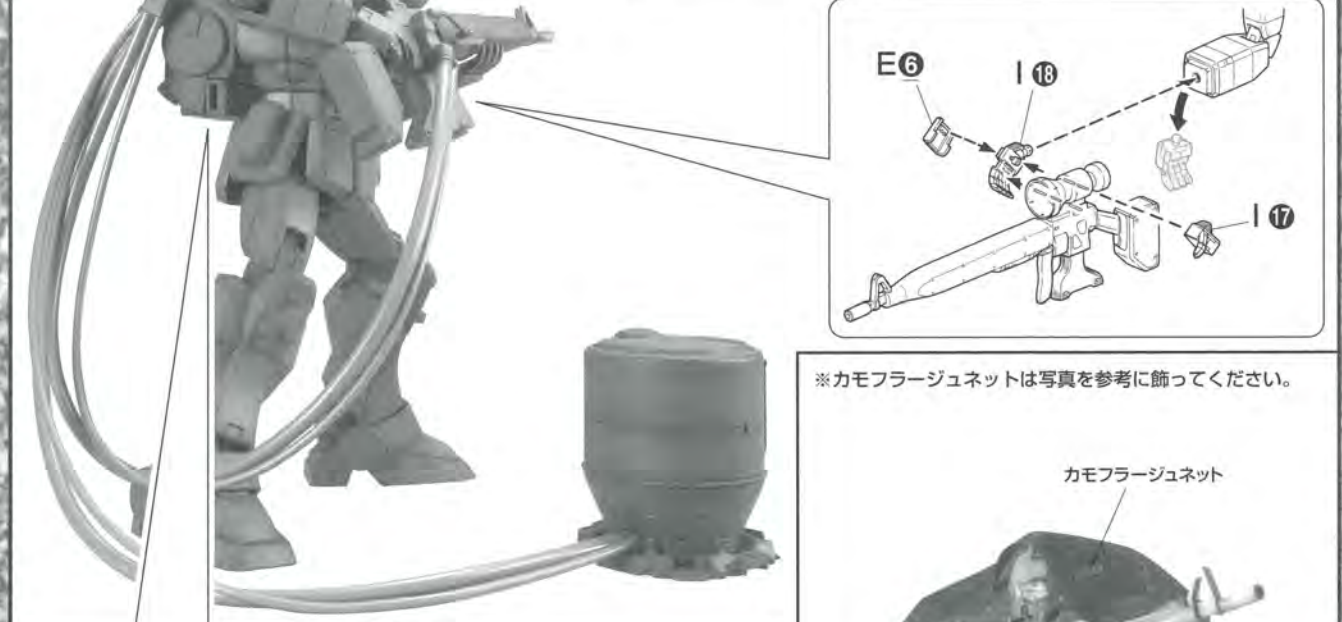
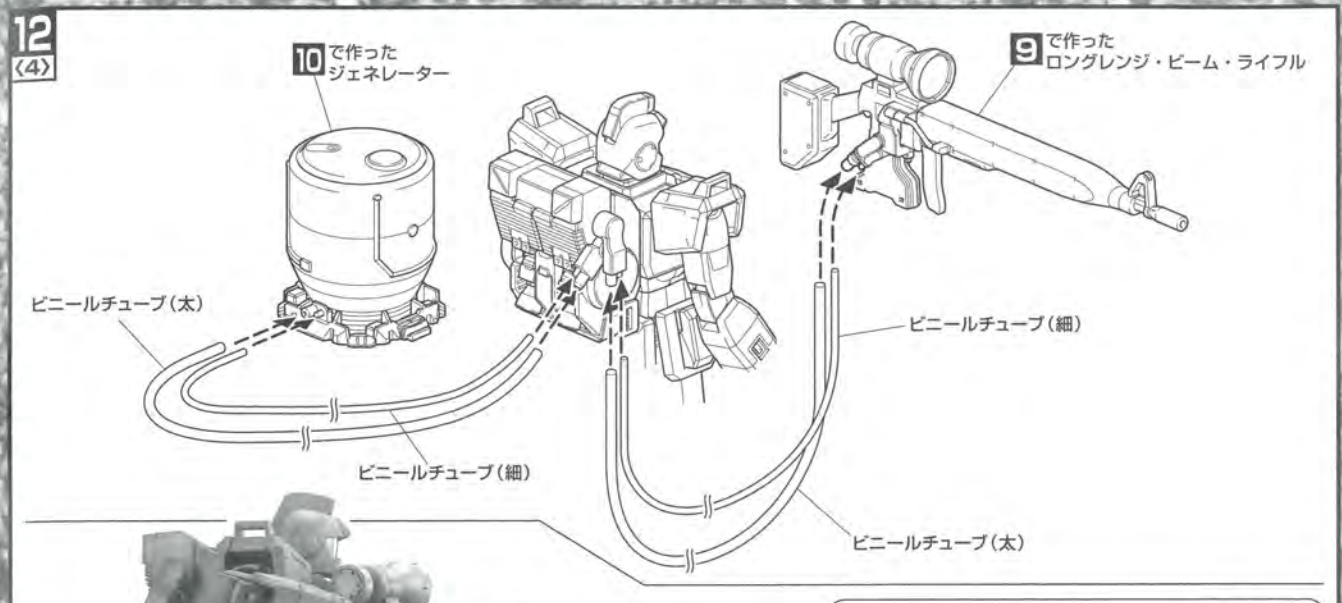
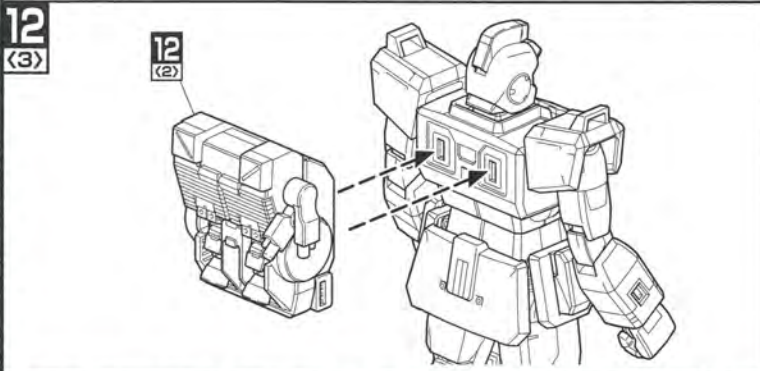
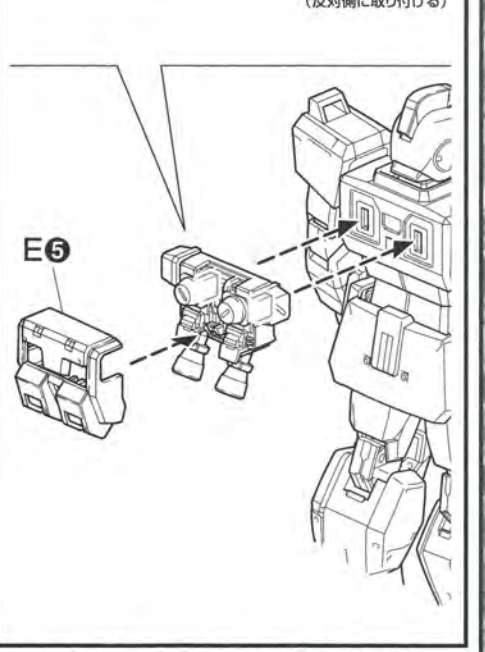
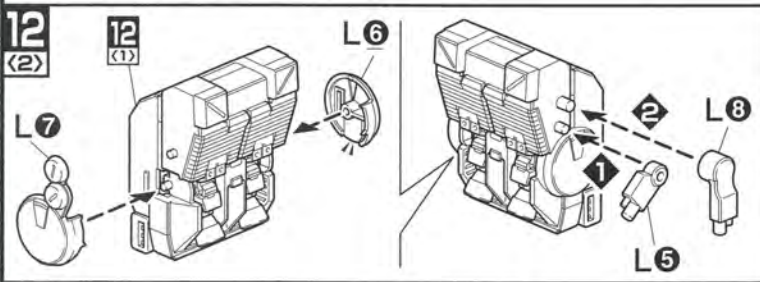
・ビニールチューブ(太)×2
 ・ビニールチューブ(細)×2
 ・カモフラージュネット



(選んで組み立てる) ・劇中に登場した通常型のランドセル

12 (ランドセルの組立) RANSEL UNIT

(向きに注意) **E 16** **E 2** **E 1** (反対側に取り付ける)



※ロングレンジ・ビーム・ライフルは、ランドセルに取り付けることができます。

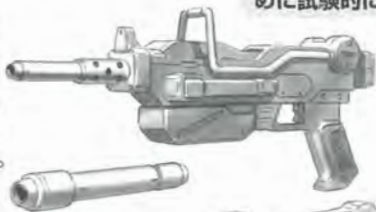
〈右側〉 〈左側〉 (選んで取り付け)

※カモフラージュネットは写真を参考に飾ってください。

WEAPONS (武器)

マシンガン

威力の割りに小型で扱いやすく、特に地上に配備された部隊に多く支給されている。連邦軍のMSの標準的な装備。予備のマガジンを腰部アーマーに装備できる。



ビーム・サーベル

連邦軍製MSの標準的な兵装。ビーム・ライフルよりもエネルギー消費が少ないため、本体からのゲイン供給も可能。近接戦闘および白兵戦時に威力を発揮する。



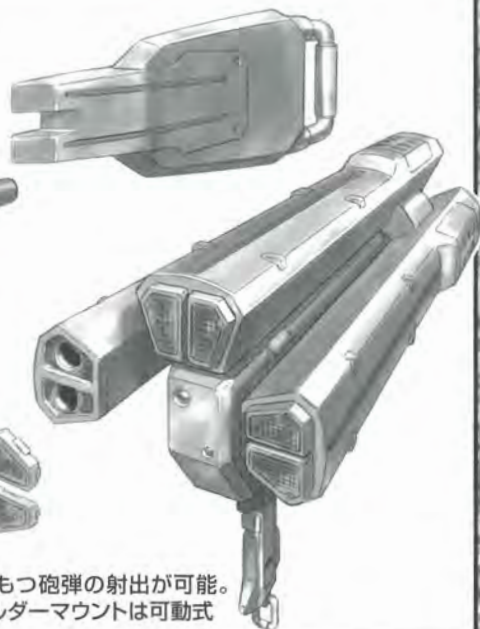
ビーム・ライフル

実体弾を凌駕する威力をもつが、実用化直後であるため実戦部隊への配備は遅れており、定数を満たせず貴重な装備となっている。



シールド

腕部のハードポイントに装着する防御用装備。白兵戦闘時にはポジションを変更することで物理的打突用の武器としても使用可能となる。



ミサイル・ランチャー

展開式の安定翼をもつ砲弾の射出が可能。装弾数は6発で、ショルダーマウントは可動式

【基本説明】
HOW TO

【部品表】
PARTS LIST

【胸部】1
BODY UNIT

【頭部】2
HEAD UNIT

【腕部】3,4,5
ARM UNIT

【脚部】6,7
LEG UNIT

【完成】8
FINAL ASSEMBLE

【ロングレンジ・ビーム・ライフル】9~12
LONG RANGE BEAM RIFLE

【武器】13~22
WEAPONS

【シール】
SEAL

13 WEAPONS



・組立13で使用するパーツ

H (x2)



I



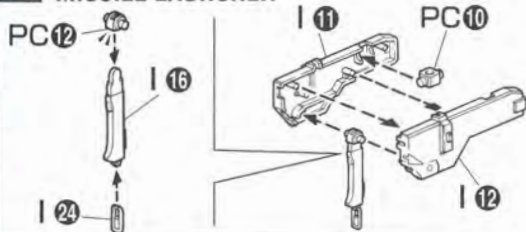
PC



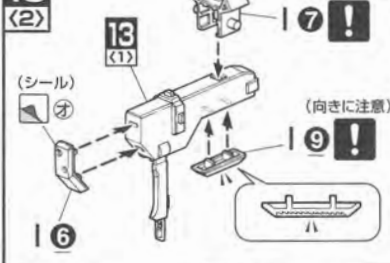
・カラーシール

13 (ミサイル・ランチャー)

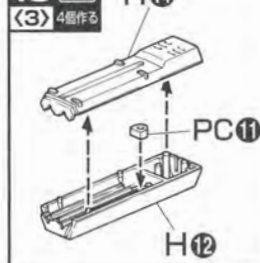
(1) MISSILE LAUNCHER



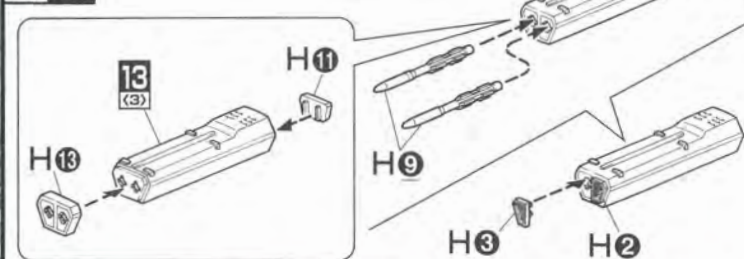
13 (2)



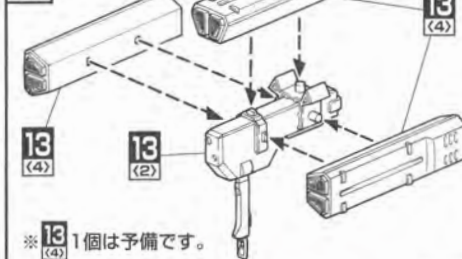
13 (3)



13 (4)



13 (5)



14 15 16 17 18
WEAPONS



・組立 14・15・16・17・18 で使用するパーツ

A B C D F
 G H (x2) SB1 PC

・カラーシール

14 〔ビーム・ライフルの組立〕
 BEAM RIFLE

F10 (先に貼る)
 F11 (向きに注意)
 F8 F7 F9

15 〔100mmマシンガン〕
 100mm MACHINE GUN

F2 F3 F4 F1 (向きに注意)
 F6 (向きに注意)
 A33・A34

16 〔シールドの組立〕
 (1) SHIELD

F5 G7 C6 C8

16 (2)

G8 B12 PC1 D5 B11

17 〔ミサイルの組立〕
 MISSILE

2個作る (切り取る)
 H6 H8 H10 H5

18 〔ビーム・サーベルの組立〕
 BEAM SABER

2個作る
 A23 A16

19 〔武器の装備〕
 WEAPONS EQUIPMENT

13で作ったミサイル・ランチャー (左腕にも取り付け出来ます)
 14で作ったビーム・ライフル
 15で作ったマシンガン
 18で作ったビーム・サーベル
 16で作ったシールド

SB1 (1) (両脚に収納できます)
 (選んで取り付ける)
 (選んで取り付ける)

※17は好みの場所に飾ってください。
 ※A1は好みの場所に飾ってください。
 ※A2・A3は好みの場所に接着してください。

※この商品に、バックパック及びコンテナは入っておりません。ジム・スナイパーには、右の陸戦ガンダム(別売り)ガンダムEz-8(別売り)に付属のバックパック及びコンテナを取り付けることができます。

陸戦ガンダム(別売り)
 ガンダムEz-8(別売り)

20

バックパック

21

13で作ったミサイル・ランチャー

22

コンテナ

20

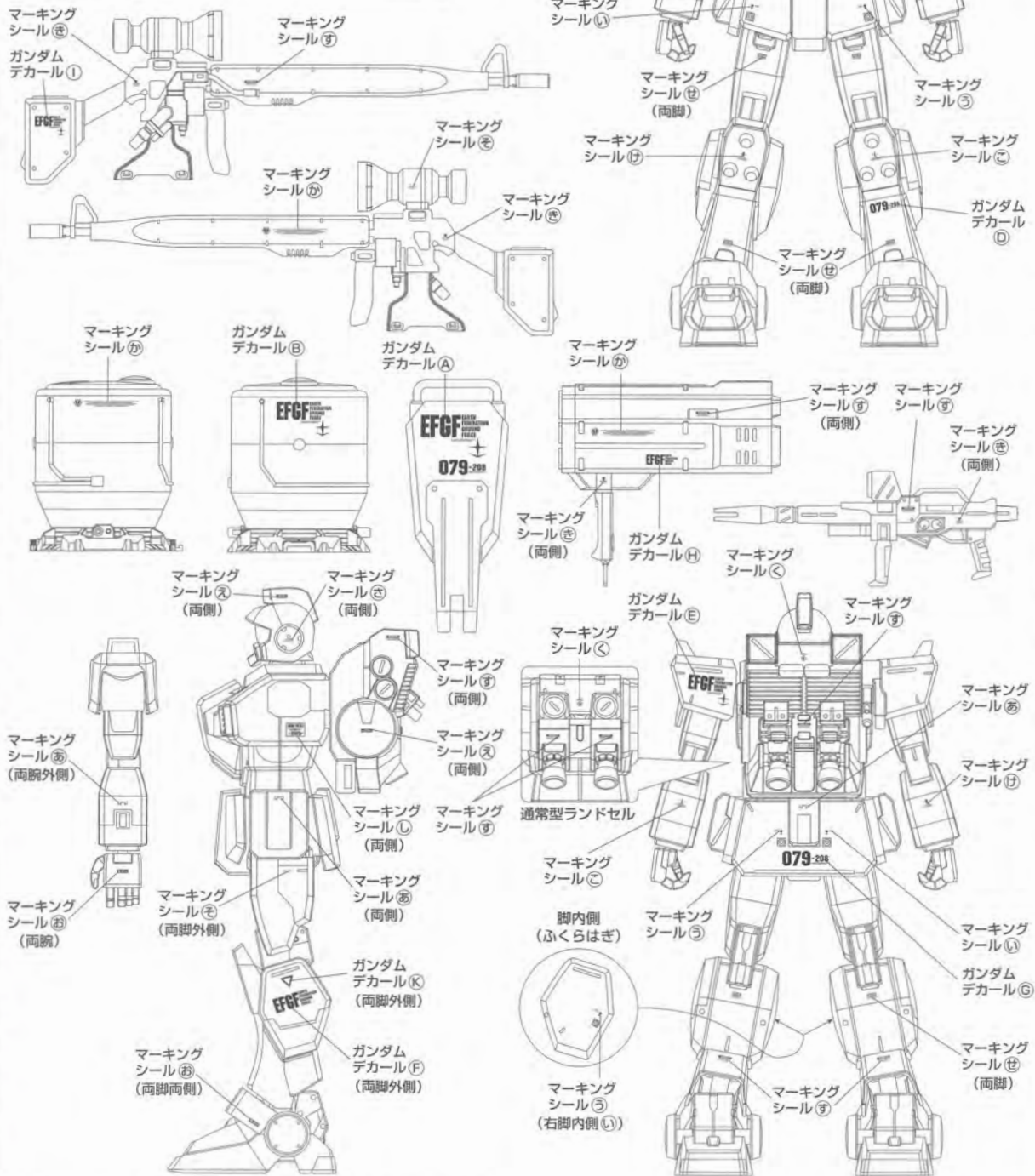
Seal

【シール】 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

ガンダムデカールの貼りかた。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカール指示は一例です。イメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。